

平成27年11月吉日

関係者 各位

(公社)日本コンサルティング・エンジニア協会
会長 内村 好
技術交流委員会委員長 田中 宏

AJCE 技術交流セミナー2015
インフラ整備と先端技術
ご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は当協会活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

(公社)日本コンサルティング・エンジニア協会(AJCE)は、技術に立脚した公正なコンサルティング・サービスを提供する知的専門家であるコンサルティング・エンジニアの品位の確立・技術の向上・国際連携の促進を図り、海外コンサルティング・エンジニアとの技術交流およびその成果の普及に関する事業を行い、コンサルティング・エンジニアの技術の発展と科学技術の振興を通して広く社会に貢献することを目的として活動しております。

技術交流委員会は異種技術の交流とコンサルティング・エンジニアの資質向上・業務開発を目的に活動を続けております。

活動の一環としてこのたび、技術交流セミナーを開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

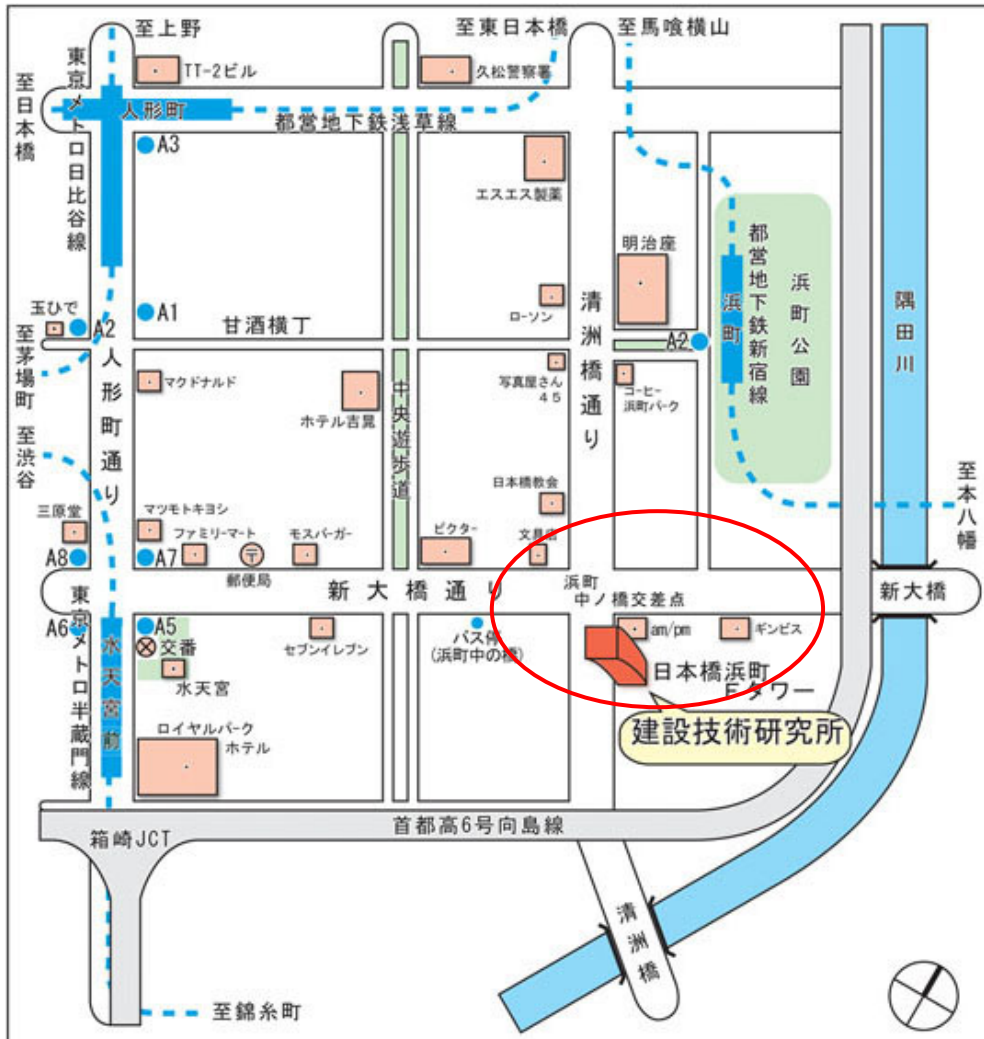
記

1. 日 時 平成27年12月1日(火) 14:00～17:00 (受付:13:30～)
2. 会 場 (株)建設技術研究所 10階 会議室 (別紙地図参照)
住所: 〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町3-21-1 (日本橋浜町Fタワー)
電話: 03 (3668) 0451
3. 定 員 40名 (申込み先着順)
4. プログラム
14:00-14:05 開会の辞:
AJCE 理事・技術交流委員会委員長 田中 宏
14:05-14:55 『カタール国総合開発計画』
(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル
執行役員 イノベーション事業部長
柴田 純治氏
14:55-15:45 『固体燃料ロケットの開発』
宇宙航空研究開発機構(JAXA) 名誉教授、元 JAXA 宇宙科学研究所長
小野田 淳次郎氏
15:45-16:05 - コーヒーブレイク -
16:05-16:55 『鉄道ビジネス海外展開の課題を考える』
東京工業大学 特任教授
渡邊 智紀氏
16:55-17:00 閉会の辞:
AJCE 理事・技術交流委員会副委員長 澁谷 實
5. 参加費 無料
6. お申込み方法 申込み用紙に必要事項をご記入の上、
Fax 03-3839-8472 または info@ajce.or.jpにてお申し込み下さい。
7. 申込み締切り 平成27年11月24日(火) 必着
8. お問合せ 〒110-0005 東京都台東区上野3-16-4 (文行堂ビル3階)
(公社) 日本コンサルティング・エンジニア協会事務局
電話 03-3839-8471 E-mail: info@ajce.or.jp

以上

株建設技術研究所 10階 会議室

住所：〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町3-21-1
(日本橋浜町Fタワー)



- | | | | | |
|-------|------|-------|-------|------|
| 東京メトロ | 日比谷線 | 人形町駅 | A1 出口 | 徒歩9分 |
| 東京メトロ | 半蔵門線 | 水天宮前駅 | A5 出口 | 徒歩5分 |
| 都営浅草線 | | 人形町駅 | A3 出口 | 徒歩9分 |
| 都営新宿線 | | 浜町駅 | A2 出口 | 徒歩4分 |

～～セミナー講師～～

柴田 純治 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル 執行役員



1971年に英国より独立したカタールがはじめて策定した国土開発計画(Qatar National Master Plan:QNMP)について紹介する。オリエンタルコンサルタンツグローバルは2005年から2006年にかけて行われたこの計画業務の国際コンペに勝ち抜き、2007年に契約、約5年の歳月をかけて現地調査、データベース作成、全国空間開発計画、地区開発計画、都市計画トレーニングなどを実施し2012年に業務を完了した。

1989年東京工業大学大学院理工学研究科・社会工学専攻修了。25年以上にわたり国際協力機構(JICA)、現地政府、民間等の発注する総合交通計画調査、国家開発計画調査、事業可能性(F/S)調査、各種技術調査に従事。参画した計画対象地域は、東南アジア、南アジア、中東、南米、アフリカと多岐にわたる。2014年4月より現職。

小野田 淳次郎 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 名誉教授



我が国の宇宙開発は固体燃料ロケットであるペンシルロケットから始まったといえる。その後、この固体燃料ロケットは目を見張る発展を遂げ、我が国初の人工衛星を含む多数の先進的な科学衛星や「はやぶさ」等の探査機に搭載され、我が国の宇宙科学の発展に大きく貢献してきた。我が国の固体燃料ロケット発展の経緯とその宇宙科学への貢献等について紹介する。

1974年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、同年東京大学宇宙航空研究所助手に着任。以降改組に伴い、文部省宇宙科学研究所を経て宇宙航空研究開発機構(JAXA)に勤務。1991年10月より教授、2009年10月よりJAXA理事、JAXA宇宙科学研究所長を経て、2013年4月より現職。

渡邊 智紀 東京工業大学 特任教授



昨今の日本のインフラビジネスの海外展開の一環として、鉄道ビジネスの海外展開を取り上げる。英国の鉄道事業では日本メーカーが大きな受注を獲得した。鉄道をはじめとするインフラにはその国の社会や文化が色濃く反映される。日本国内で最適化されたビジネスモデルを海外に展開するにはどのような課題があるかを考察する。

1972年東京大学工学部機械工学科卒業、同年日本国有鉄道に入社。1987年(財)鉄道総合技術研究所着任。主任研究員、年電気車研究室長、主幹研究員を経て、2011年より東京工業大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻「鉄道の技術イノベーションと標準化」JR東日本寄附講座 特任教授。

1992年国際規格活動(IECTC9)参画、2004年工業標準化功労者として経済産業大臣表彰受賞、2007年IEC1906賞を受賞、2010年国際規格センターシニアエキスパート。